

2021年度(第118期)

株主通信

2021年4月1日—2022年3月31日

水が途切れない世界を実現する



シナジーを期待する新規・周辺事業の拡販等を図りつつも 主要商品の販売価格への転嫁にタイムラグが生じ、 対前年度増収減益となりました。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに、当社2021年度(第118期)(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の事業概要
等についてご報告させていただきますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 日下 修一



当期の経営成績の概況について

2021年度は、「水が途切れない世界を実現する」という当社のパーパスを新たに制定し、「管路分野のInnovative All in ワンストップ企業」への歩みを進めて参りました。

公共インフラに関するシビックテックとしてWhole Earth Foundationとともに手掛けている「鉄とコンクリートの守り人(マンホール聖戦)」に関しては、8月の渋谷区を皮切りとして全国へ展開を進めているところであります。公共インフラである水道マンホールの維持保全のための画像・位置情報をスマートフォン上でのゲームアプリにより収集する先進性や、コンパ型撮影イベントを通じて地域住民である家族や友人同士で参加できる娯楽性が話題を呼び、当社久喜工場においてテレビ番組の報道取材を受けた他、多数のメディアにて紹介されました。加賀市・三島市といった地方開催の実施により、郷土への関与すなわちシビックプライドの意識向上に寄与する旨の参加者の声も頂いており、第一ステップとして順調に推移していると評価しております。

また、「管路分野のInnovative All in ワンストップ企業」に向け、設計から工事施工に至る通常のDB(デザイン アンド ビルド)方式については、ますます好評を得ているFracta社とのパートナーシップによるAI管路診断技術のソフト販売活動を組み入れた当社独自のDB(デザイン アンド ビルド)方式の活用、事業体ニーズをくみ取ったメンテナンス込みのDBM(デザイン アンド ビルド アンド メンテナンス)の売り込みを進めてきております。

開発新商品「楽ちゃく」は、これまで接合作業において作業負荷のかかっていた芯だし・接合が、サポートアームをワンタッチで取り付けるだけで誰でも楽に簡単に出来、工事の安全性確保、作業環境改善や老若男女を問わない作業者の確保、作業人員の削減ならびに作業時間の半減を可能にした画期的な工具です。いくつかの現場での試行も経ましたので、営業販売に入って参ります。推進工法対応の「オセール」も、引き続き好評を得ており、さらなる拡販を試みております。

「管路分野のInnovative All in ワンストップ企業」を目指す取り組みは、このように順調に推移しており、2021年度はそうした活動を一層深化させ、昨年芽吹いた成果を着実に前進させる年となりました。

当連結会計年度の経営成績は以下のとおりとなっております。

売上高につきましては、原材料・燃料価格等の高騰により販売価格改定を進めてきたこと、グループ会社の売上が好調であった

こと、シナジーを期待する新規・周辺事業の拡大等の成果などにより販売が順調に推移してきており、5億22百万円(前年同期比3.6%)増加し、151億85百万円となりました。

収益につきましては、原材料価格等の大幅な高騰に対する販売価格転嫁へのタイムラグを主要因として、減益となりました。原材料価格等の高騰対策については、自助努力だけでは吸収しきれず、やむを得ず、関係各位のご理解を得ながら、販売価格の改定を進めて参りました。これによる売上高の増加に加えてコスト削減による収益改善を実施したものの、販売価格改定にタイムラグが生じていることが影響したうえ、2022年1月に発生した塗料メーカーにおける品質上の不適切行為によって水道事業体が工事の停止や延期・キャンセルが発生したことで一時的に需要が落ち込み、営業利益は3億12百万円減少し3億83百万円、経常利益は3億13百万円減少し4億17百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は4億25百万円減少し2億36百万円の利益となりました。

引き続き、皆様のご期待に添えるような企業運営に努め、さらなる安定利益を確保するよう一層努力してまいりますので、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当社ではESGやSDGsに関わる取り組みを積極的に行っており、2021年度は、国際NGO「ウォーターエイド」に対して、ダクタイト鉄管の販売本数に応じた寄付を開始しはじめました。当社の鍍鉄管をご購入いただいた顧客の皆様へ間接的に参画いただけるよう貢献の輪を広げてきております。また、久喜工場近隣の久喜菖蒲公園にて、地域の皆様へ自然と親しめるイベントを昨年11月より開始し、好評を得ながら毎月開催してきております。今後も、ESGやSDGsに関わる取り組みを積極的に進めて参ります。

また、当社はIR活動の一環として、株主の皆様をはじめとした投資家の皆様との対話を深めるために、昨年3月より開始した個人投資家様向け説明会を昨年9月、本年3月とこれまで計3回開催して参りました。参加者の皆様からいただいたいくつかのご質問にお答えすることにより、双方向のコミュニケーションを図らせていただいております。今後も引き続き、さまざまなコミュニケーションツールを活用しながら、投資家の皆様との対話を通じたIR活動の推進を進めてまいります。

引き続き、株主の皆様をはじめステークホルダーの皆様のご期待に添えるよう、種々の経営施策を着実に実行し、さらなる安定利益を確保するよう努力して参りますので、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

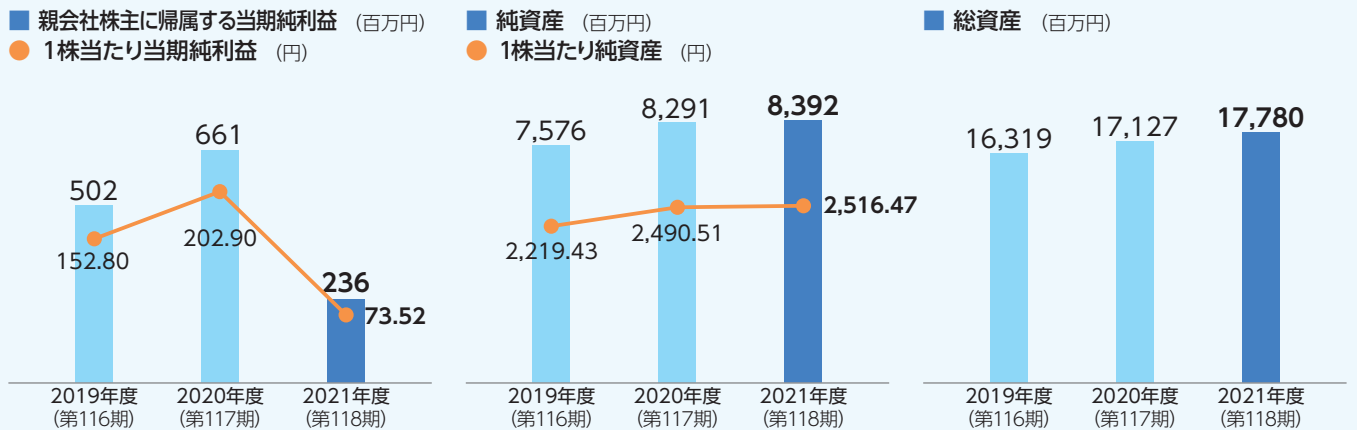
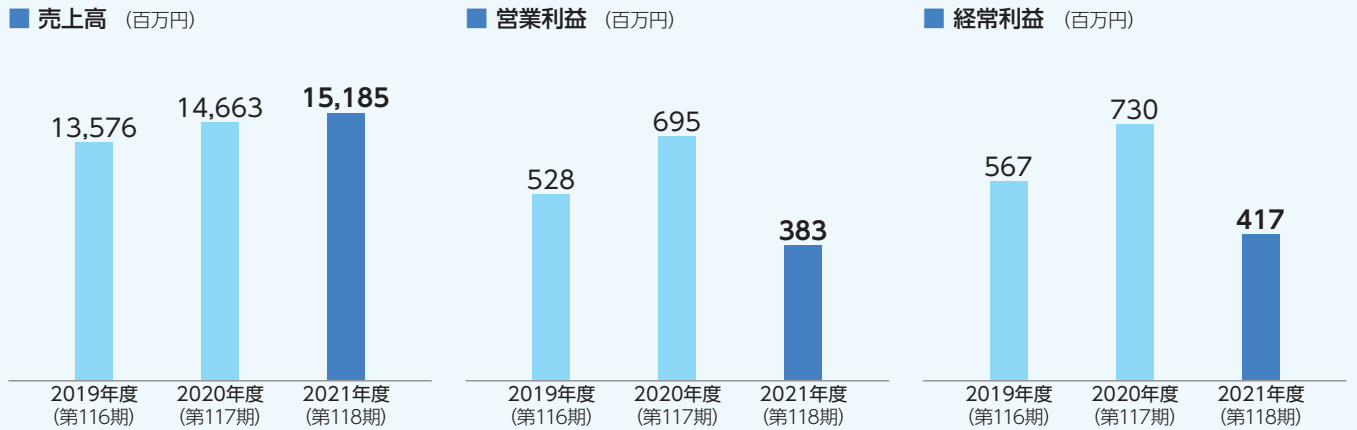


売上高
15,185 百万円 (前期比 3.6%増↑)

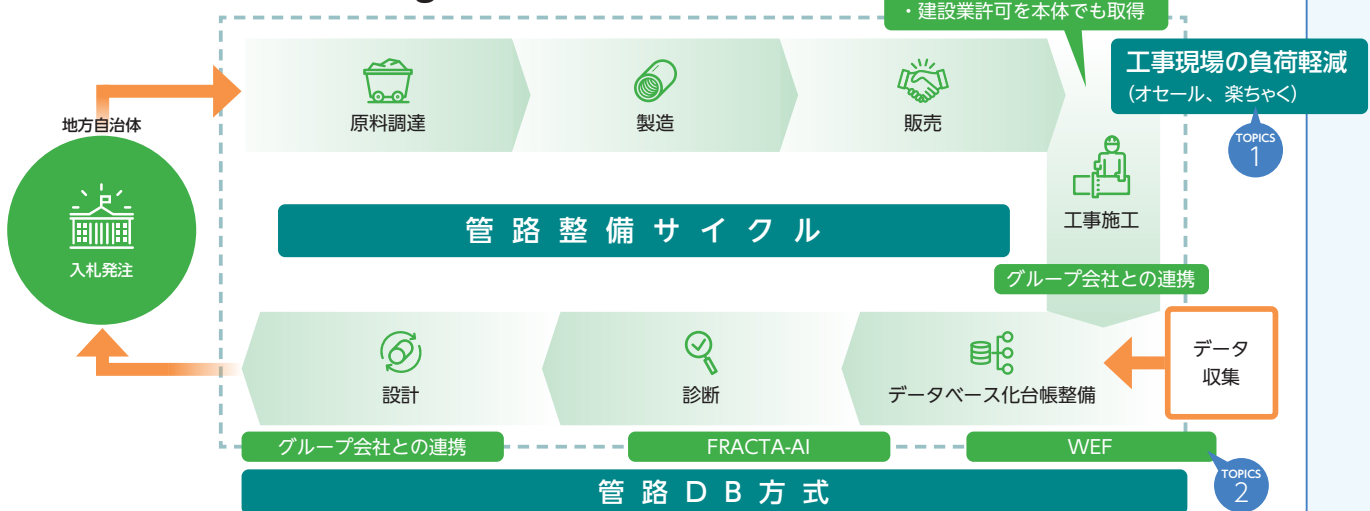
経常利益
417 百万円 (前期比 42.9%減↓)

営業利益
383 百万円 (前期比 44.9%減↓)

親会社株主に帰属する当期純利益
236 百万円 (前期比 64.3%減↓)



日本鑄鉄管のGame Change への取り組み



TOPICS
1 楽ちやく現場が喜ぶ
シンプル＆快適な管接合工具

「水が途切れない世界を実現する」をパーパスとする当社は、おもに水道管に用いられる鋳鉄管を「楽に、早く、確実に」接合できるプリセット接合工具「楽ちやく」を開発しました。

鋳鉄管を布設する際、狭い掘削構内での接合作業は細かな作業が求められ、複数人で行う必要がありました。

「楽ちやく」を使用すると、芯を正確に合わせられ、市販の電動工具などで管接合作業(管の引き込み作業)が1人で簡単に行えます。芯だし調整のための新設管吊り直し作業が不要となり、作業人数の少数化も可能。作業時間は従来の半分に抑えられます。リニューアルした紹介動画で「楽ちやく」の作業工程がわかりやすくご覧いただけます。

現場に寄り添った構造設計を、ぜひ多くの皆様に体験していただき、安心安全な公共インフラの維持・改善に推進してまいります。

わかりやすくなった
紹介動画



https://www.youtube.com/embed/_xtW-UiFeRg?



「楽ちやく」紹介ページ

<https://www.nichu.co.jp/product/dac/raku/>

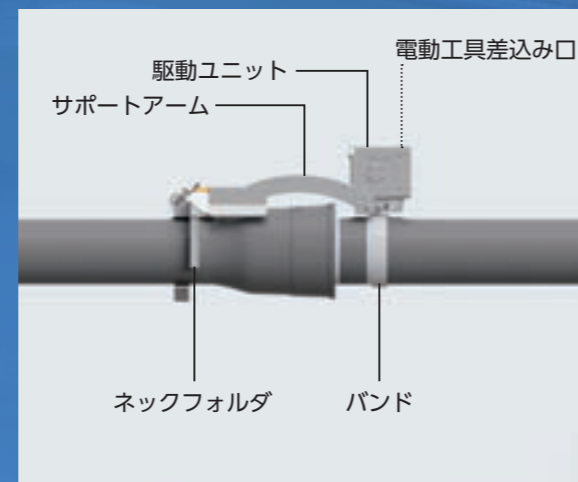


ポイント

①

誰でも、楽で正確な
接合ができる

新設管にサポートアームと駆動ユニットを、受け口にネックフォルダーをワンタッチで取り付けるだけでOK。

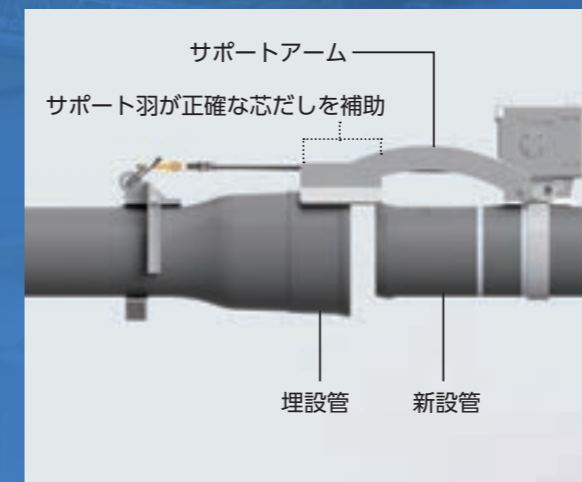


ポイント

②

従来の半分の時間で
接合が可能

新設管を布設場所に降ろすと、サポートアームによって正確な芯だしが実現。あとは電動工具などで接合するだけ。



ポイント

③

作業は管上部から
できるクリーン施工

管が繋がったら「楽ちやく」を外して終了。作業は管上で完結するので視認性が高く、取り扱いもクリーンです。



TOPICS

2

下水道分野DX推進プロジェクト
マンホール聖戦「鉄とコンクリートの守り人」が好調

マンホール聖戦
「鉄とコンクリートの守り人」とは？

当社が市民参加型の環境インフラ情報プラットフォームの実現を目指す民間非営利団体 Whole Earth Foundation と連携し、共同開発したゲームアプリ。プレイヤーがゲームをすることでマンホール蓋が撮影・投稿され、遊び感覚でマンホールの情報基盤の整理が行われます。目標は日本全国のマンホール地図の完成。

■ テレビや新聞など多数のメディアが注目！

マンホール聖戦はテレビや新聞など多数のメディアに取り上げていただいております。2021年12月16日に放映されたテレビ東京系ワールドビジネスサテライトでは、アプリの紹介だけでなくとどまらず、鉄蓋を製造する当社久喜工場にもテレビカメラが入りました。

このようにメディアを通じて広く認知されることで、市民の皆様にとっても、上下水道の事業者様にとっても、当社のような鉄蓋メーカーにとっても、有益な方向に進むよう「三方よし」を目指して、引き続き「ゲームでできる社会インフラへの貢献」を推進してまいります。



プロジェクトの詳細はこちら

<https://www.nichu.co.jp/others/dxproject/>

■ 「マンホール聖戦in三島」を
イベント開催！

また、2022年3月に開催されたイベント「マンホール聖戦 in 三島」では、延べ400名が参加し、わずか2日間で三島市内全域のマンホール蓋約1万基をコンプリート。想定以上のスピードでコンプリートされたため、イベント3日目には追加ミッションとして、参加者の皆様からニーズのあった消火栓の蓋を対象に加え、ゲームを楽しんでいただきました。

イベントでは、上位10名の受賞者全員が三島市民であり、「地域を自分たちの手でより良くしよう」というシビックテック*1が、シビックプライド*2へと進化していました。

今後も各自治体様のニーズを踏まえ、全国各地でのイベント開催を検討しております。



※1 シビックテック：市民がテクノロジーを活用して社会や地域が抱える課題の解決を目指す取り組みや技術の総称

※2 シビックプライド：「地域をより良い場所にするために、自分自身が関わっている」という、当事者意識や自負心のこと

ESGの取り組み 自然と遊ぶイベントが好評

埼玉県久喜市にある久喜工場の近くに、豊かな自然で知られる久喜菖蒲公園があります。当社は同公園管理事務所と共催し、毎月1回、公園内の休憩舎でイベントを開催しています。テーマは「自然の中で自分だけの宝物を作る・遊ぶ」。芸術大学卒の先生の指導を受けながら、ハーバリウム、スノーボールなどを手作りしています。

イベントの名称は社内公募で選ばれた「Nature Play Carnival in Kuki」。当社の略号NPCKを頭文字にして「自然と遊ぶカーニバル」という意味合いを表現しています。参加者の皆さんからは「子供と参加できるイベントをありがとうございます」「これってSDGsですね」などの声も。地域に元気と笑顔をお届けする企業を目指し、今後も活動を続けたいと考えています。



会社・株式情報 (2022年3月31日現在)

■ 会社概要

会社名	日本鑄鉄管株式会社 NIPPON CHUTETSUKAN K.K.
設立	1937(昭和12)年10月
本社所在地	東京都中央区築地一丁目12番22号 コンワビル
資本金	18億5,500万円
従業員数	300名
連結子会社	日鑄商事株式会社 株式会社鶴見工材センター 日鑄サービス株式会社 株式会社イガラシ

■ 役員 (2022年6月21日現在)

代表取締役社長	日下 修一
取締役	大木 勝裕
取締役	奥村 一郎
取締役	山内 崇
常勤監査役	高舘 健二
監査役	宇田 斉
監査役	野神 光弘
執行役員	小倉 健次
執行役員	清水 孝
執行役員	渡邊 恭二

- (注) 1. 奥村一郎、山内 崇の両氏は、社外取締役であります。
2. 宇田 斉、野神光弘の両氏は、社外監査役であります。
3. 奥村一郎、宇田 斉の両氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員であります。

■ 株式の状況

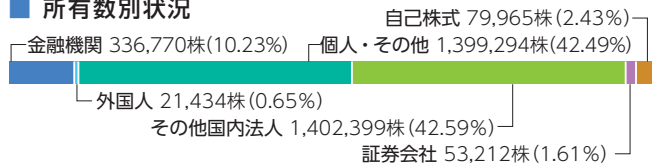
発行可能株式総数	12,800,000 株
発行済株式の総数	3,293,074 株
株主数	3,260 名

■ 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
JFEスチール株式会社	960,000	29.88
東京瓦斯株式会社	333,333	10.37
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	238,500	7.42
松原明男	63,200	1.97
渡邊倉庫株式会社	60,000	1.87

- (注) 1. 当社は自己株式(79,965株)を保有しておりますが、上記の表には記載しておりません。
2. 持株比率は自己株式を控除して算出しております。

■ 所有数別状況



■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
配当金受領	期末配当 3月31日
株主確定日	中間配当 9月30日
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 ☎ 0120-288-324(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告とする。但し、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

コーポレートサイトのご案内

当社コーポレートサイトでは、決算情報、リリースなど、最新情報を掲載しておりますので是非ご覧ください。

日本鑄鉄管 検索 <https://www.nichu.co.jp/>

